

令和2年度 校長通信

# Team 陽明



～自主 創造 敬愛 剛健～

沖縄県立陽明高等学校  
 沖縄県立陽明高等支援学校  
 発行者 校長 宮城 哲夫

自宅でご過ごしている

## ♪ 新入生・在校生のみなさんへ！ ～校長よりメッセージ～

新入生・在校生・保護者のみなさま、今回の人事異動で南部工業高校より着任した校長の宮城哲夫と申します。

始業式及び入学式とも、新型コロナウイルス感染拡大防止のために4月20日から5月7日へと再延期となつてしまい、本校へ入学を楽しみにしてい

た生徒、新しい学年での学校生活に期待していた生徒、インターハイで毎日、部活動を頑張ってきた生徒もとても辛い思いをしているのではないで

しょうか。校長として、皆さんが思い描いた4月からの高校生活をスタートさせることができなかつたことが残念でなりません。

いろんな複雑な思いを抱えながら自宅で過ごしている皆さんへ校長として伝えたいことが二つあります。まず、一つ目は、ウイルスを「正しく恐れてほしい」ということです。すべての場面で一人ひとりが三密(密閉、密集、密接)を避けて、丁寧な手洗いとうがいの励行を、率先して行って下さい。正しい手洗いがわからない生徒は、今までの学校からのプリントや「嵐の手洗いソング」やピコ太郎さんの手洗い動画「PPAP --2020-」をみて身に付けて下さい。

ところで、人間は、身に迫る危険に対して甘く見るという過ちを犯しがちです。確かな理由もないのに「自分だけは大丈夫だろう」と思ってしまうそうです。自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりしてしまう人の特性のことを社会心理学、災害心理学などで使用されている心理学用語で、「正常性バイアス」というそうです。

自然災害や火事、事故、事件などといった自分にとって何らかの被害が予想される状況下

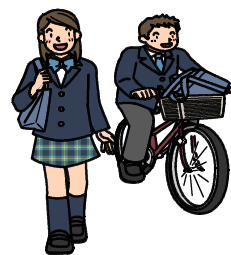
にあつても、都合の悪い情報を無視したり、「自分は大丈夫」「今回は大丈夫」「まだ大丈夫」などと過小評価するそうです。今回のウイルスに対して、2月下旬頃は、「若い人は罹患しても大丈夫」ということをテレビで発言するコメンテーターもいましたが、海外のニュースを見ても、若い人も命を失うことがあるなど怖いウイルスです。また、これから沖縄でのコロナの感染者数が、たとえ一時的に減つても決して油断せず、是非「正しく恐れる」ということを忘れないで下さい。ウイルスの脅威から自分自身、家族や友達といったかけがえのない人を守るためにも冷静で賢明な行動が求められているのです。

二つ目に、今回の臨時休校を完全に前向きに考えるということは難しいかもしれませんが「自分を見つめ直す時間が与えられた」と考えてみて下さい。将来の進路のことも考えながら、自宅で、正しい学習リズム、生活リズムを確立しながら、課題に取り組んだり、苦手な科目の克服に努めたりして下さい。また、今まで時間がなくて読めなかつた良本を読むこともいいでしょう。

きっと、それが学校再開後、大きな力になります。

先生方も学校の再開に向けて準備をしているところです。約1ヶ月の授業の遅れを取り戻すことと、みなさんの健康を守るために、今年は、楽しみにしていた行事を中止しないといけないこともあるかと思ひます。ただ、そういう中でも、知恵をだし、工夫しながらみなさんの高校生活が充実したものになるよう取り組んでいきます。

学校が再開し、みんなと会える時を職員一同、心まちにしています。その時まで頑張ろう！



## 今後の行事予定

**入学式及び始業式・学校の再開については学校のホームページ、または毎日のニュース等をよく確認しておいて下さい。**

